

垂水区と神戸港を守る消防団員

垂水消防署とともに垂水区を守る垂水消防団は、本団と8つの分団で構成され、団長以下、160名で組織されています。住宅地にある消防団であることから、消防団員の中に、会社員の方が多数在籍しているのが特徴です。

今月は、そんな垂水消防団のヒーローである、舞子分団の中川伸一さんをご紹介します。

中川さんも、平日は会社員として勤務される一方、休日や夜間には消防団員として、熱心に地域防災のために活動されています。また、消防活動のほかにも救急インストラクター



垂水区
垂水消防団舞子分団

中川 伸一 さん

として、市民救命士の講習会などにも協力され、力を発揮されています。

また、コンピューターについても豊富な知識をお持ちであることから、神戸市内の各消防団で組織される神戸市消防協会の消防団ホームページの広報を担当されており、垂水消防団を代表して、神戸市内の各消防団の広報活動にも活躍されています。

このように、地域で大活躍の中川さんですが、今年の4月には職場でも大活躍されました。

中川さんは、神戸港で船舶に関する仕事に従事されていますが、ある日の仕事で、中川さんの同僚が同じ場所でぐるぐる回っている船を発見！そこで中川さんは、同僚とともに現場へと駆けつけたそうです。

現場では、船長が意識もろろの状態となっていたそうですが、それを見た中川さんは、応急手当をし



ながら、そのまま救急車を待つより水上消防署の消防艇用棧橋まで患者を搬送する方が適切だと判断し、関係機関に通報するとともに、船を水上消防署まで操船し、棧橋で救急隊に引き継いだのです。

このように、自宅でも職場でも、災害があればすぐに駆けつけ、適切に対応する中川さんは、本場に「われらがヒーロー」だといえるでしょう！

これからも、私たち垂水区民と神戸市民を守るヒーローとして、さらなる活躍を期待しています。